

政 務 活 動 貢 成 果 報 告 書

令和4年11月11日

犬山市議会

議長 三浦知里 様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和4年 10月 12日(水)～令和4年 10月 14日(金) (2泊 3日)
(2) 視 察 地	第84回全国都市問題会議 会場：出島メッセ長崎
(3) 視察の種類	常 任 委 員 会 : 会 派 (公 明 ク ラ ブ)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	10月13日(木) 9:30～ 基調講演 「民間主導の地域創生の重要性」株式会社ジャパネット 高田社長 ジャパネットグループでは現在、通信販売事業に並ぶ事業で 2本目の柱として、「スポーツ・地域創生事業」を掲げ、長崎駅前に スタジアム・アリーナや商業施設、ホテルなどで構成するまちづくり 「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進め、2024年の開業を 目指している。長崎を盛り上げたい。そのために人口を増やし、経済 を活性化し、地域資源を活用して地域の魅力を広く伝えるためには、 民間企業も行政も目指すゴールは同じ、官民連携が大事だとあった。 田上長崎市長より、わがまちの価値とは①価値を見つける②価値に 気づく③価値を磨く④価値を生み出す、4つの視点で長崎市は価値 を見つめ直しているとあった。一般報告では、「地域との新しい関り 方・関係人口」島根県立大学田中准教授、「ビジョンを活かしたまち づくり」佐藤山形市長の報告があった。
(5) 犬山市に 対する提言	「民間主導の地域創生の重要性」のテーマで講演された高田社長 の言葉の中に「長崎スタジアムシティプロジェクト」を目指す上で、 行政だからできること、民間だからできること、今こそ官民そして そこに住む住民の方々と連携し、地域全体の幸福の総量を増やして 行きたい」とあり、犬山市としても、民間の意見を聞き、今後の市政 運営に活かしていただきたい。



政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和4年11月11日

犬 山 市 議 会

議 長 三 浦 知 里 様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和4年 10月 12日(水) ~ 令和4年 10月 14日(金) (2泊 3日)
(2) 視 察 地	第84回全国都市問題会議 会場：出島メッセ長崎
(3) 視察の種類	常 任 委 員 会 : 会 派 (公 明 ク ラ ブ)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	10月14日(金) 9:30~ パネルディスカッション 「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチをテーマに、パネルディスカッションが行われた。ゆとり研究所野口所長からは、人は日々変化をし、人と人がいい出会いをすると、もっといい変化がある。そういう変化をしていく人が多い町こそが魅力的、とあった。山形大学地域社会システム学科田中教授からは、コロナ禍の動向を見ながらワーケーションの利点を上手に育てていくことが大切とあった。NPO法人長崎コンブラドル桐野理事長からは、何度も訪れたい場所になるために、まち歩きガイドを通じて、まちの良さを伝えるには、自分が誰よりも町を愛することが大切、とあった。飛騨市都竹市長からは、「飛騨市ファンクラブ」を通して、関係人口の理論、メカニズムについての話があった。伊丹市藤原市長からは、にぎわい創出・何度も訪れたいくなるまちについて、まちの魅力作りは日々市民によって培われている旨の報告であった。
(5) 犬山市に 対する提言	飛騨市 都竹市長より、人口減少先進地の飛騨市は困難な課題ばかりであるが、飛騨市ファンクラブ等の活動を通して、市に心を寄せてくださる存在は、飛騨市の力となっていると実感している。さらに世の中の皆さんを頼って、楽しく集い、語りながら前向きにチャレンジするムードを作り、人口減少時代を生き抜く知恵などが生まれてくるとあった。犬山市も、様々なことにチャレンジするべきである。